

## 福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（3月分）

留学先：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：奈良健一郎

私が留学をしているルーマニア・アメリカ大学はルーマニアの首都ブカレストに属しています。この報告書では到着してからの流れ、またルーマニアで注意してほしいことや授業についてなどを紹介したいと思います。まずルーマニアの空港であるアンリ・コアンダ空港に到着するとお出迎えがあり大学寮までタクシーで連れて行ってくれます。ついたら寮の簡単な説明が行われます。部屋は基本3人部屋ですが2人になることもあります。様々な国籍の学生が学生寮で暮らしており、英語を話す機会が増えることでしょう。ですが私の場合同部屋になった学生が英語を話すことができなかつたので苦勞しております。私は少しでも英語を話す機会を増やしたいので、いろんな部屋にいたりして友達を増やしたりしています。部屋の設備ですがシャワーやベッドなどはついていますが、電子レンジや冷蔵庫などはついていないので、ルームメイトと一緒に買いに行くといいかもしれません。もしくは元からその部屋にいる人がすでに買っている可能性もあるので、その場合シェアすることができるか聞いてみるといいです。また食事は基本外食か日本でいう出前を頼むことになります。部屋にはキッチンはないので料理することは厳しいです。一応食堂やカフェが大学にあります夕方くらいで閉まってしまいます。夜は近くのスーパーで簡単に食べれるものを買ったり、ピザを頼んだりする事が多いです。こちらではサラダの価格が高く味もおいしくないなので、日本のドレッシングを持っていくことをお勧めします。次に移動手段ですが、メトロやバスがあるので何回分かの切符のようなものを買ったほうがいいです。どれを買った方がいいのかなどは留学生担当の方がオリエンテーションで教えてくれます。自分の場合は、タクシーを使うことが多いです。ですが普通のタクシーにのると料金をごまかしたりしてきて危ないので、TAXIFIというアプリを使って呼ぶことおすすめします。使い方は簡単で最初にクレジットカードの情報をいれて目的地を入力するだけです。運転手の名前、車種、ナンバーも出てくるのでどのタクシーに乗るのがわかりやすくあとどれくらいでつくのかも表示されます。値段も安く手軽に使うことができます。タクシーだけでなくルーマニアは物価が安いのでお金を節約できます。個人的にはそれがルーマニアで暮らすうえで一番のメリットだと感じています。大学ではASIAN CENTERに日本に興味を持っている学生がたくさんいて頻繁にっています。数人は日本語が上手で日本の文化についてもとても興味を持ってくれています。また英語もちろん上手いので自分にとって英語を練習する場であり、日本語を教える場となっています。ASIAN CENTERの学生が頻繁にイベントを開いてくれたりするので、交流を深めることができます。さらに大学にはジムもつい

ておりお金はかかりますが運動不足が気になる人は利用するといいと思います。夜の10時まで空いているので、授業が終わってからもいけます。

次に授業ですがルーマニアについてから授業のスケジュールが送られてくるので次の週から自分の取りたい授業の教室に行きました。授業がきまったら留学担当者の部屋に行って履修登録を行います。意外と長い期間変更も可能だったので、ゆっくりとる授業について考えることができます。授業はModule1と2に分かれており1で終わる授業もあれば1と2を通して行う授業、2だけで行う授業もあります。4月に中間テストがありそこで好成績をとると6月に行われるテストを免除することができます。授業は大学生向けと院生向けがあり最初に院生向けの授業をとったのですが、ほんとにspeakingのレベルが高い人でないと難しいと感じました。逆に前者は聞いていることが多くあまり実践的ではない印象を受けました。自分は前者の方の授業をメインにとっていてゲストスピーカーによって開講される授業をとって会話力・プレゼン力の向上を目指しています。ゲストスピーカーのコースは1週間ほどの短期間で行われるので負荷も少なく、なおかつ実践的で面白かったです。

休日の過ごし方ですが、学校もあいていなく本当に暇です。友達を誘ってどこかに旅行にいったりすることをお勧めします。学生は電車に乗るのが無料なので気軽にルーマニア旅行を楽しめます。大学の近くだとOld Townというところでレストランや飲み屋が並んでいるので楽しむことができます。旅行に行くのであれば一番美しい街といわれるオラデア、ドラキュアで有名なブラン城などに行くといいと思います。

やらなければいけない手続きとしてはwi-fiの月々の支払い、寮費の支払いまたimmigration officeにいてビザの代わりとなるものを手に入れてくる必要があります。手順や場所なども留学生担当の方が丁寧に教えてくださるので安心です。左の写真が大学のロビーで右側がold townの様子です。

